

目標達成計画

作成日：令和 5年 12月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		目の届かないところでの転倒・転落の危険がある。	転倒・転落事故を起こさない。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の動きを把握し、瞬時に対応できるようにする。 ・危険を予測し、速やかに対応する。 ・利用者のレベルに合わせた筋力維持ができるよう下肢の体操などを取り入れる。 ・目の届かない場所で利用者が危険な動きが音等で分かるように工夫し、速やかに対応できるようにする。 	12ヶ月
2		重度化して、利用者の個別のニーズに偏りがある。	重度化しても本人の意向に沿うケアをする	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化している利用者の状況、状態を把握し、健康管理に努める ・重度化してもその人らしく暮らせるように職員が連携をとり支援する 	12ヶ月
3		介護度に差があり、軽度の方の思いや意向に寄り添うことが不十分になっている。	1人1人の思いや意向に寄り添いストレスの軽減を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・自立された方への声掛けを多くし、本人の負担にならないような役割を見つけ活躍できる場を見つける。 ・外出などで気分転換ができるよう支援していく。 ・孤立しないよう気の合う利用者同士で快適に過ごせるように支援する。 	12ヶ月
4		重度化し、外出支援や外部、家族との交流が少なくなっている	個人の希望をできるだけ叶えられるように支援して外部との交流を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ外出する機会を増やせるようにしていく。 ・外食や喫茶、買い物などの支援を増やしていく。 ・家族との交流がスムーズにできるよう支援する。 ・個別ケアを充実し、歩行練習等を支援する。 	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。